

2014年度日本質量分析学会

功 労 賞**長谷川富喜子 氏** [東京理科大学]

長谷川氏は1978年に東京理科大学薬学部質量分析室に技術員として採用され、出産・育児による中断の後、1988年から再び質量分析測定業務に携わって現在に至っている。長谷川氏は所属する薬学部のみならず全学から依頼される有機合成化合物の合成各段階および最終生成物の確認や天然物の構造解析など多岐にわたる測定・解析をこなし、その数は年間千数百件に及ぶ。この間、新しく登場するイオン化法や質量分離法に対応しつつ、質量分析計の維持管理のみならず、試料に応じた測定機種やイオン化法を的確に選択するなど適切に業務を遂行した。さらに、Web上で測定依頼からデータ取得まで行う管理システムを企業とともに構築して依頼者の利便性を向上させ、申込処理から測定データ保存までの一元管理を可能とするなど、ソフト面からの業務改善にも成果を上げた。

また、学会員としては、BMSコンファレンスや本学会創立50周年記念若手講演会の実行委員を務めるなどで学会事業に貢献した。

このように、長谷川氏が本学会の会員として質量測定の基盤的業務に長年従事し、質量分析技術の進歩発達および普及に寄与したことは本学会功労賞に値するものであり、贈呈を決定した。